

統合型地理情報システム機能要件一覧

要件NO.	大項目	中項目	小項目	要件
1	共通事項	サービス提供環境	機器・ネットワーク環境	職員の利用するクライアント端末及びプリンターは本市が導入している機器を使用する。 ネットワークは、本市既存のネットワーク環境を利用する。 ・クライアントパソコンが利用するLGWAN接続系のネットワークの回線速度は以下のとおり。 庁内：100Mbps ・本市の庁内ネットワークと接続する回線の回線速度は次のとおり。 LGWAN接続回線速度：100Mbps ・本市で主に使用する端末はSKY株式会社のSKY DIVによりシンクライアント化しており、以下のスペックで構築されている。 CPU：2コアを割当 メモリ：6GB OS：Windows11Pro（22H2） SDD：100GB ブラウザ：Microsoft Edge Office：Office Standard 2016 ・クライアントPC接続方法：有線・無線
2			データ管理	日次によるデータのバックアップが可能であること。
3				人的過失による障害や運用ミス等によりデータを消失した場合、直近のバックアップデータでリストアが可能であること。
4				原則、24時間365日利用可能とすること。ただし、保守等の予定された停止については、この限りではない。
5		ライセンス数	管理者側ライセンス	管理者アカウントは、同時接続が可能であれば1アカウント、同時接続不可の場合は3アカウント以上とすること。
6				同時接続可能なユーザ数は40であること。ただし、ユーザは無制限に登録可能であること。
7		デザイン・操作性	デザイン	（利用端末数約800台※LGWAN系のネットワークに接続されたパソコン数） 表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。
8			操作性	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であることを示す。
9		情報セキュリティ	システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要となるログ情報を取得すること。
10			アクセス・操作ログ	管理システムのアクセスログ・操作ログを取得すること。
11			不正プログラム対策	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。
12				システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。
13		サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報については、全て抽出し発注者に提供することを指定。
14			保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、保有データの提供ののち、速やかにシステムから消去すること、消去においては、復元不可能な状態にすることを指定。
15		統計機能	－	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計する機能。
16		関係法規制への対応	－	サービスの稼働、運用・提供に関係する関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。
17		著作権	－	（必要な場合） 第三者が権利を有している画像等を使用する場合は、事前に権利者から二次利用を含めた使用の許諾を得た上で、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受託者が行うこと。
18	資格管理	管理側アカウント管理	管理情報	職員用アカウント（所属ごと）を登録・編集・削除できること。
19			アカウント設定方法・認証方法	ユーザIDとパスワードにより利用者認証ができること。
20				登録できるユーザー数は無制限であること。
21				管理者によるパスワードのリセット又は再設定ができること。
22			アクセス制御	職員アカウントは、所属ごとなどでグループ設定でき、各グループごとに利用可能な情報の権限設定を行えること。
23	基本条件	地図の種類・ライセンス	住宅地図	住宅地図の同時接続ライセンスは20とする。
24				住宅地図データは株式会社ゼンリン製の「Zmap-TOWNⅡ（御殿場市）」とし、導入時に一括契約方式で受注者が調達し、5年間毎年最新のデータが使用できるようにすること。
25			背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。
26				地形図、背景用民間地図等の元データがベクタレイアの背景図については、タイル画像化して表示できること。
27			凡例機能	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。

統合型地理情報システム機能要件一覧

28	利用者向け機能	地図表示機能	地図表示	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。
29				表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。
30				異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した 2 種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。
31				並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。
32				施設情報や地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。
33				背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。
34			索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。
35				索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。
36			主題情報・シンボル情報	図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できる図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。
37				点レイヤと属性情報で構成されるシンボル情報を表示できること。また、点レイヤはアイコンとして表示できること。
38				アイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。
39				属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。
40				ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。
41				縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。
42				また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。
43			関連ファイル	施設情報や地図コンテンツに関連ファイルを設定できること。
44				アイコン、線レイヤ及び面レイヤをクリックすることにより、関連ファイルを表示できること。
45			拡大縮小	画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。
46				表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小できること。
47				表示地図領域内でマウス操作により矩形領域を指定し拡大できること。
48				レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。
49			移動	マウスホイールの操作により地図を拡大・縮小できること。
50				マウス操作により表示地図の任意の箇所 1 点を指定し、指定した箇所を画面の中心に表示できること。
51				画面上に表示されるボタン等により、地図を任意の方向に一定割合で移動できること。
52				マウス操作により地図をつかんだようにして移動できること。
53		レイヤ管理等	レイヤ表示等	線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。
54				レイヤ単位及び分類単位で表示・非表示の切り替えができること。
55		属性機能	マイレイヤ	ユーザごとにマイレイヤの追加・編集・削除ができること。
56				マイレイヤに属性テーブル、属性項目の追加・編集・削除ができること。
57			属性情報管理	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定し、追加・編集・削除ができること。
58			属性情報表示	地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。
59			属性一覧	地図上の地物の属性一覧を表示できること。
60		検索機能	属性検索	属性一覧画面から地物を検索できること。
61			属性データ型	属性情報として以下のデータ型を設定できること。 数値、文字列など
62			住所検索	住所情報による地図検索ができること。
63			目標物検索	住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「ー（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。
64				目標物による地図検索ができること。
65				キーワード入力による地図検索ができること。キーワードは文字の部分一致で検索できること。
66			ルート検索	リスト選択による地図検索ができること。
67				2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。
68			座標検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。
69				地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。
70	印刷・出力	印刷		画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。
71				都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。
72				コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。
73				印刷する際のレイアウトを予め指定した独自の様式に変更できること。（印刷テンプレートの設定）
74			データ入力・出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。
75				CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、出力項目等の管理が可能であること。
76				CSV等の多様なデータ形式のインポートができること。
77		計測		マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。
78				距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。

統合型地理情報システム機能要件一覧

79				計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。
80				地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。
81		作図機能	作図	一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。
82		お知らせ機能	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。
83	管理機能	公開管理	公開データ登録	公開型GISとの円滑な連携ができること。 公開型GISとの連携のためのデータ作成ができること。 公開型GISとの連携は、外部媒体等を使用するものではなく、連携ツール等による公開・非公開の設定等ができること。